

報告書

国際機関

- 1) Yoshifumi Nakanishi et al. (2001) Report on the OECD mutual joint visit to US industrial chemicals GLP.

国内・行政機関

- 1) 岩崎健二, 佐々木 毅, 岡 龍雄, 安田彰典, 田井鉄男, 久永直見 (2001) 長時間労働・深夜業の循環器系への影響の研究. 厚生労働省産業医学総合研究所.
- 2) 加藤桂一 (2001) 2-chloro-4,6-dimethoxy-1,3,5-triazine による労災事例研究に関する報告.
- 3) 加藤桂一 (2001) Chlorine dioxide による災害調査事例総括報告.
- 4) 加藤桂一 (2001) 化学物質による健康障害にかかわる災害調査復命書からの情報分析報告について.
- 5) 加藤桂一 (2001) 二酸化塩素被災にかかわる疑義情報報告.
- 6) 宮川宗之, 大谷勝己 (2001) 職場環境に関わる内分泌攪乱物質の効率的な生物試験法の開発. 内分泌攪乱物質による生殖への影響とその作用機構に関する研究 (平成 10~12 年度) 成果報告書, p232-244, 文部科学省研究振興局.
- 7) 原谷隆史 (2001) 職場のメンタルヘルス対策の研究動向. 調査研究報告書 No.144 メンタルヘルス対策に関する研究 - 対策事例・欧米の状況・文献レビュー・調査結果 -, p180-188, 東京, 日本労働研究機構.
- 8) 荒記俊一, 有藤平八郎, 久永直見, 小川康恭, 毛利一平, 中田光紀, 柴田英治, 坂井 公 (2001) 労働環境におけるシックハウス症候群の実態と労働衛生学的対策に関する研究. 厚生科学研究費補助金, シックハウス症候群の病態解明, 診断治療法に関する研究, 平成 12 年度分担研究報告書.
- 9) 小川康恭 (2001) 平成 12 年度清掃業等におけるダイオキシン類等の労働者へのばく露実態の把握に関する調査研究報告書.
- 10) 小泉信滋 (2001) 作業環境中の有害因子に対する生体防衛反応の分子機構の研究. 平成 11 年度国立機関原子力試験研究成果報告書, 文部科学省.
- 11) 小林章雄, 荒記俊一, 横山和仁, 佐藤 元, 原谷隆史, 福井里江 (2001) 精神障害の労災補償に関する諸外国の制度に関する研究. 平成 12 年度委託研究報告書.
- 12) 斉藤 進, 城内 博, 他 (2001) 高年齢労働者の健康管理面に配慮した VDT 作業に関する調査研究. 平成 12 年度報告書 (中間報告), 東京, 中央労働災害防止協会.
- 13) 川上憲人, 荒記俊一, 毛利一平, 古野純典, 佐藤 元 (2001) 被爆体験と現在の身体的健康状態との関連, 厚生科学研究費補助金, PTSD 等に関連した健康影響評価に関する研究. 総括報告書.
- 14) 前川和彦, 南 正康, 小川康恭, 飛鳥井 望, 大前和幸, 山口達夫 (2001) 東京地下鉄サリン事件被災者の慢性期における身体的, 精神医学的影響に関する患者対照研究. 平成 10 年度 - 12 年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業総合研究報告書.
- 15) 倉林るみい (2001) 産業精神保健と社会的ひきこもり—出社拒否との関連を中心に—. 青少年の社会的ひきこもりの実態・成因・対策に関する実証的研究, トヨタ財団 1999 年度研究助成 B 調査研究報告書, p45-48.
- 16) 倉林るみい, 太田博昭, 倉本英彦, 大西 守, 鈴木 満 (2001) パリ在留邦人コミュニティにおける精神保健サービスの需要と供給. 平成 11-12 年度文部科学省科学研究費研究成果報告書基盤研究 B-2, p46-53.
- 17) 倉林るみい, 齋藤高雅, 鈴木 満 (2001) デュッセルドルフ在留邦人コミュニティにおける精神保健サービスの需要と供給. 平成 11-12 年度文部科学省科学研究費研究成果報告書基盤研究 B-2, p41-45.

- 18) 大久保, 久繁, 莊司, 加地, 中館, 堀江, 城内 博, 他 (2001) 平成 11 年度労働安全衛生に関する調査研究_健康診断の有効活用に関する評価調査研究最終報告_, 産業医科大学産業医実務研修センター.
- 19) 鷹屋光俊, 神山宣彦, 芹田富美雄, 篠原也寸志, 小笠原真理子, 小滝規子, 岩田豊人, 戸谷忠雄, 高田礼子 (2001) 機能性材料由来の金属微粒子の分析法と生体影響の研究. 平成 12 年度環境保全研究成果集 (), p79-1-21.
- 20) 池田耕一, 山崎省二, 明星敏彦, 他 (2001) 平成 12 年度厚生科学研究補助金室内空气中の微生物汚染に関する調査研究報告書, (財)ビル管理教育センター.
- 21) 平田 衛, 熊谷信二, 田淵武夫, 織田 肇, 田井中秀嗣 (2001) 小規模事業所における労働衛生管理の推進に関する調査研究報告書, 大阪府立公衆衛生研究所.
- 22) 本間健資, 須田 恵, 津賀浩史, 宮川宗之, 王 瑞生 (2001) 環境汚染物質の神経毒性評価に関する神経行動薬理学的解析. 平成 11 年度環境汚染物質の環境リスク評価, 管理に関する総合研究, p 84-1~84-29 .
- 23) 明星敏彦, 鷹屋光俊, 小笠原真理子, 安彦泰進 (2001) 排気ガス中の粒子状物質のリアルタイム成分分析に関する研究. 平成 12 年度環境保全研究成果集 (), p78-1 -78-36
- 24) 輿 重治, 菅野誠一郎, 明星敏彦, 他 (2001) 平成 12 年度統一精度管理事業報告書, 日本作業環境測定協会
- 25) 輿 重治, 齊藤 進, 他 (2001) 鉱業及び採石業快適職場推進委員会報告書, 東京, 中央労働災害防止協会.
- 26) 櫻井治彦, 菅野誠一郎, 他 (2001) 平成 12 年度職域におけるシックハウス関連物質の目標値, 中央労働災害防止協会.
- 27) 澤田晋一 (2001) 欧州標準化委員会 CEN/TC122/WG3 第 16 回会議報告, ISO/TC159/SC5/WG1 国内委員会.
- 28) 澤田晋一, 他 (2001) 新規産業支援型国際標準開発事業快適な生活空間の創造のための温熱環境の標準化. 平成 12 年度新エネルギー・産業技術総合開発機構研究受託成果報告書, (社)人間生活工学研究センター.
- 29) 齊藤宏之, 中島淳二, 石井哲也, 毛利一平, 城内 博, 小川康恭, 有藤平八郎 (2001) 作業環境測定結果及び健康診断結果等の保存記録の調査報告書(衛生管理特別指導事業場における労働衛生管理実施状況に関する調査報告)平成 11 年度集計結果, 厚生労働省産業医学総合研究所.
- 30) 荒記俊一, 酒井亮二, 横山和仁, 内田栄一, 内山巖雄 (2001) 社会・環境因子が日本および米国の国民の健康と寿命に及ぼす影響. 平成 11 年度 AGS 研究成果報告書, p129-134, 東京大学 AGS 研究会.
- 31) 荒記俊一 (2001) 平成 12 年度研究の概要. 平成 12 年度産業医学総合研究所年報, p i-ii, 独立行政法人産業医学総合研究所.
- 32) 小林章雄, 荒記俊一, 横山和仁, 佐藤 元 (2001) 平成 12 年度労働省災害科学に関する委託研究報告書「精神障害の労災補償に関する諸外国の制度に関する研究」, 26p.
- 33) 大井 玄, 相沢好治, 荒記俊一, 安藤正典, 浦野紘平, 久保木富房, 竹中 洋, 土屋悦輝, 西岡 清, 橋本信也, 藤巻秀和, 吉村健清, 鈴木達夫, 宮田幹夫 (2001) 平成 12 年度本態性多種化学物質過敏状態の調査研究報告書, 370p, 日本公衆衛生協会 .
- 34) 吉川武彦, 明石真言, 荒記俊一, 岡田幸之, 加藤 寛, 川上憲人, 金 吉晴, 吉野純典, 佐藤 元, 莊田正一郎, 藤森立男 (2001) PTSD 等に関連した健康影響評価に関する研究総括報告. 平成 12 年度厚生科学研究費補助金 (特別研究事業) PTSD 等に関連した健康影響評価に関する研究班報告書, 17p .
- 35) 森 亘, 荒記俊一, 伊藤千賀子, 吉川武彦, 黒沢 尚, 小佐古敏荘, 佐々木康人, 新橋尚隆, 中根充又, 長滝重信, 藤田正一郎 (2001) 原子爆弾被爆未指定地域証言調査報告書に関する検討会報告書. 厚生労働省原子爆弾被爆未指定地域証言調査報告書に関する検討会, 11p .

- 36) 西野和雄, 荒記俊一, 伊東健次, 坂井 公, 山本保博 (2001) 「硫化水素被害認定審査会」報告書, 東京都硫化水素被害認定審査会, 5p .
- 37) 荒記俊一, 吉野純典, 川上憲人, 毛利一平, 佐藤 元 (2001) 被爆体験と現在の身体的健康状態との関連. 吉川武彦(主任研究者), PTSD 等に関連した健康影響に関する研究 (平成 12 年度厚生科学特別事業), p45-85 .
- 38) 荒記俊一 (2000) 結言. 21 世紀の労働衛生研究戦略協議会最終報告書, p27, 労働省産業医学総合研究所. (平成 12 年度版 補遺)